

平成24年度 第2回会計学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年8月2日（木） 午前11時00分から14時00分

II. 会 場：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：岸田委員長（スカイプ参加）、椎名副委員長、河崎委員、金川委員、
松本委員、阿部委員（事務局）井端事務局長、松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

議論に先立ち、前回の委員会で作成した「会計学教員の教育力」のうち、分野間での用語統一のため、表現が変更されたことが報告された。

続いて「教育改善モデル実現に求められる教育力」について検討した。求められる教育力として、グループ学習時の授業運営能力、実習のシナリオを作成する能力、授業連携のための能力、ICTを活用できる能力等を盛り込むこと等が提案された。またグループダイナミックス、他分野や社会との連携についても必要な要素であることが確認された。以上の検討の結果、次の5つにまとめられた。

- ①学部学科の教育目標に沿ったカリキュラムの全体像の中で当該授業の位置づけを教員間で確認し、教育方針に沿って工夫・改善ができること。
- ②隣接諸科学や社会生活と関連付けながら、会計学の重要性を会計情報の活用方法を理解させられること。
- ③多様なメディアから会計情報を入手し、グループダイナミックスを用いて分析する能力を高めさせられること。
- ④実務家からの協力を得ながら経営戦略につながる会計情報の活用方法等の実践例を収集し、ケーススタディとして授業に反映させられること。
- ⑤ICTなどを活用して教員・学生間のコミュニケーションを高め、適切な教材を作成してeラーニングにおける補完的な指導ができること。

次に「教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題」について検討が行われ、まずFD活動について議論を行った。各大学で行われているFD活動についての現状について考察し、教育力の点検、評価、改善の方法について検討した。その中で、これまでのFD活動は効率的に行われていないとの指摘があり、新たなFD活動を提案する必要性が提言された。議論の結果、FD活動には学生や第三者機関、学外等の意見を積極的に取り入れていくこと、ICTを積極的に活用していくことが確認され、次のようにまとめられた。

- ①コンソーシアム等の意見を参考にカリキュラムや授業デザインについて、点検・評価・改善の場を設ける必要がある。
- ②教員相互と実務家との連携により、授業ポートフォリオを用いて科目間の連携を検証

するための仕組みを設ける必要がある。

③学内外の専門家や実務家を招聘し、教育方法、教材作成等に関する助言を受ける場を設ける必要がある。

④学生から関する意見や不満を聴取し、授業改善に結びつける場を設ける必要がある

⑤ICTを活用した教育方法改善のためのワークショップを組織的に行う必要がある。

最後に「大学としての課題」について議論が行われ、次のようにまとめられた。

①授業の録画、教材、ネットワーク上のディスカッション等、学内外の多様なコンテンツをアーカイブする必要がある

②ICTを活用した教育手法を実現するため、大学として支援体制を構築する必要がある

③関連分野の教員や実務家からの協力を得るために、連携の支援および財政的援助を行う必要がある。

2. 次回までの検討事項

報告書にまとめるにあたり、会計学分野における学士力についての概要説明と各到達目標についての解説を作成することが要請され、執筆分担を決定した。なお締め切りは8月24日とする。

3. 次回の委員会

日時：平成24年8月31日 16時から

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上